

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025 年 8 月 28 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	前田工織株式会社
所 在 地	〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目 38-3
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 前田尚宏
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-6402-3944（代表）
	メール：ishizaka@mdk.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.maedakosen.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

土木資材のメーカーとして、港湾分野の持続可能な発展に取り組んでいる。従来の防砂シート、袋詰め根固めなどの港湾整備資材、汚濁防止膜・オイルフェンスなどの保全資材に加え、新技術を活用した維持管理・予防保全・国土強靱化に注力している。港湾空港技術研究所との共同開発により、ケーソン目地透過波低減法（ネットバッファ工法）という新技術・新工法を開発し、環境負荷が少なく、低コスト・工期短縮が可能で経済性に優れた資材を提供している。本工法は、各種表彰制度へ積極的に応募することで、港湾管理者、港湾工事業者などのインフラメンテナンス事業や国土強靱化事業での取り組み易さにつなげている。（インフラメンテナンス大賞（2019 年 特別賞）、国土技術開発賞（2020 年）、土木学会技術開発賞（2023 年）受賞）また、気候変動に伴う災害の激甚化に対して、災害防除、インフラの早期復旧に向けた資材・技術開発や、在庫保有・流通体制の確立に努めている。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境にやさしい製品づくり （リサイクル製品や緑化、砂浜保護製品）	当該製品の改善・新規上市項目：15 品目以上
✓環境 □社会 ✓経済	省エネ活動 （社用車のハイブリッド車導入比率の向上、太陽光発電）	ハイブリッド車導入比率：60%
□環境 ✓社会 □経済	健康経営 （禁煙、健康診断有所見者 再検査勧奨、プレゼンティーズム低下）	喫煙者数：0 定期健康診断 再検査・要治療受診率：100% プレゼンティーズムによる損失：15%以下

（次項へ続く）

(様式第2号)

企業・団体名(前田工織株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・ハラスメント研修の実施 ・外部相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・コンプライアンス研修・ハラスメント研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・時間外労働の事前申請制度								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・5S活動 ・労働安全衛生委員会(月1回)開催、産業医巡回 ・安全標語の募集による意識高揚			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・外部相談窓口の設置 ・社内カウンセリング制度の導入			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・「ふくい女性活躍推進企業+」登録 ・時間単位有給休暇の導入 ・行動計画にて女性管理職登用目標を設定					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・年次別・階層別研修の実施 ・資格取得支援制度(受験料会社負担。資格報奨金) ・社内表彰制度				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・「健康経営優良法人(大規模法人部門)」認定(6年連続) ・婦人科検診費用・インフルエンザ予防接種費用補助			3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・廃棄物を適切に処理、リサイクルを推進											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・エネルギー使用量の集計し、省エネを推進							7.3						13		
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・排出量を毎年集計し、削減のため再エネ活用を推進							7.2 7.3					12.4	13.3		

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・使用している有機溶剤のSDSの管理 ・代替製品への置き換えを推進			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・第4回エコプロアワード奨励賞受賞(植生シート) ・その他生態系の保護に寄与する製品の開発製造						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・使用量を集計し利用状況を管理 ・冷却水の循環により使用量を抑制						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001 認証取得 ・環境方針の策定			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・HPや統合報告書を通じて、環境への取り組みを開示												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・太陽光発電、PPA導入(電力のグループ会社間融通)							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・材木屑などのリサイクル木材を使用した製品の製造販売 ・エコマーク認定製品												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・CEマーク取得 ・国・大学・協会などの各種認証取得			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001 認証取得 ・品質基本方針の策定									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・リサイクル製品、緑化製品、海浜保護製品などの製造販売						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・防災・減災対策製品の製造販売	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・敷地境界での振動・騒音測定を実施 ・近隣住民への配慮として夜間の騒音対策を実施				4					9		11	12		14	15		17

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
6 ・ 地 域 貢 献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・企業献血 ・各種寄付				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・県産材をつかった緑化製品などの製造販売							8	9		11	12	13					
8 組 織 体 制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念「私たちは 独自の知恵と技術で 持続可能な地球 そして 安心・安全で豊かな社会を創るために 貢献してまいります。」を共有							8	9								17	
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・コンプライアンス委員会、方針の設定 ・内部通報制度															16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・サステナビリティ委員会の設置 ・安全衛生委員会の設置															16		
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・IR説明会、個別MTGの実施 ・統合報告書の発刊															16	17	
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・リスクマネジメント基本方針の策定 ・リスク管理委員会の設置															16		
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・サステナビリティ委員会の設置 ・HP等によるステークホルダーへの開示															16		
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画(BCP)策定 ・安否確認・緊急連絡テストの定期実施								9		11		13			16		
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・積極的なM&Aを行い、地方創生を促進							8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

[illegible]